

みどりの学び舎
世田谷区立緑丘中学校
校長 楠 美利文

2019年度 世田谷区立緑丘中学校 学校関係者評価委員会の報告書の内容を受けて

1 地域との連携・協働による教育について

(1) 生徒の地域参加について

「緑丘中学校が地域の中学校として、地域に根差すために学校運営委員会や学校協議会でいろいろな意見をだしていただき協議を継続していくという方針を続けていくと思われる。あわせて「地域の方々と住みやすい街づくりに取り組もう」という新しいスローガンを生徒から自発的に加えたことは緑丘中学校の教職員、そして生徒たちが地域の学校ということをさらに意識し始めた結果であると高く評価する。また地域からのアンケート回収率31%と数字は低めではあるものの、その中でも「学校は地域の活動や行事によく協力している」、また「学校は、地域の行事に参加している」という項目については両方とも95%以上の肯定的な回答であった」という報告を受けました。

今年度に引き続き、学校運営委員会での協議、学校協議会などでご意見をいただきながら、「地域連携としての生徒の社会への活動参加の進め方」についての協議を継続します。併せて、ボランティア活動への参加を推進するために、「部活動との兼ね合い」や「地域の催しなどへの関心を高めることや情報の提供」についても検討し、生徒が地域社会に参加しやすい環境整備に努めます。

2 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育の推進について

(1) 学習について

今年度の学習指導の項目では、生徒の肯定的評価は「授業の内容について」は80%から、79%、「黒板の書き方やプリントなどを工夫し、わかりやすい指導をしている」については、全体では81%から82%と、どちらも高水準の横ばいであった。授業力向上の今年度の目標は、引き続き来年度も継続していただきたい。具体的にどのような授業力をあげるのか学年ごとに目標を示し、保護者にもわかりやすいように工夫したい。またICTの活用や関心意欲を高める指導方法を工夫し、授業改善に努めていく。

(2) 行事などへの取組について

「生徒80%以上が「学校行事を楽しみにしている」「みんなが活躍するチャンスがある」と回答している。昨年に比べどちらも増え、多くの生徒が行事を楽しみにし、充実感を得ていることが分かる。また、生徒72%が「伝統である三大行事を大切にしている」と回答している。これらの結果から学校の重点目標である学校行事の取り組みは充実していると評価できる。また、教職員のヒアリングで、3年間の行事を通して段階を踏みながら生徒主体で行動できるように指導していることが分かった」との報告を受けました。

今後も、生徒の自主性や創造性を築くような運営がなされていくように、企画や運営についての共通理解を深め、指導を工夫し、保護者、地域の理解を得ながら、生徒会のスローガンである「一生懸命がっこういい」を大切にし、実行できる生徒集団の育成を推進します。

(3) 生徒指導について

①ルールを守る

「生徒91%が「わたしは学校のきまりを守って行動している」とし、学年が上がるごとに増えている。このことから、昨年同様に生徒のルールを守るという意識の高さが伺える。保護者74%は「社会のルールを守ることについて子供た

ちに指導が行われている」としているが「本校は子供たちに問題となる行動が少ない」とした割合は60%に留まった。この割合は1年生保護者が最も低い」と報告されている。上級生を含めて、厳しく見ている結果だと考えられる。今後も規範意識を高め、社会性を育てるように心がけていく。

②指導に対して

生徒83%が生活指導で「先生に指導されたことは納得できている」と高評価であった。また、進路指導では生徒64%が「将来の生き方や進路について考えさせられる授業がある」としている。これは1年時には職業調べ、2年時には職場体験を通して将来を考える指導がなされているからと推測できる。また、生徒64%が「先生はいつも熱心に指導している」と感じ、77%が「先生は誰に対しても公平である」と感じている。昨年度より評価は上がっている。自由記述で「先生同士の情報共有をしっかりとしてほしい」という要望が何件かあった。これについては、先生同士で話す時間が取れない中でもコミュニケーションをとる努力をしていることが分かった。と報告を受けました。

緑丘中学校の良き伝統は、生徒の意欲と教員の指導、家庭の理解と協力により作り上げられ、継承されていきます。これからも学校と保護者が連携を図りながら、子どもの成長に寄り添い、すべての子どもが安心して人との関わりを深め、よりよい人間関係が構築できるように心のつながりを大切にした支援と指導を推進します。

③挨拶について

「生徒91%が挨拶を大切にし、地域の方々95%が生徒はいつも挨拶をしてくれると高評価であった。昨年の改善方策に学校側から今以上に挨拶に対する意識を高め、実践することに生徒、教職員とも務めるとあった。それについては、今後も引き続き取り組んでいただきたい」と報告を受けました。

校内における「元気の良い挨拶」が、今後も緑丘中学校の伝統となるように、今以上に挨拶に対する意識を高め、実践することに生徒、教職員が一体となって努めます。

以上の活動などをより充実させ、3年間での自立に向けた成長が実感できる教育活動を推進し、緑丘中学校を心のふるさととして、地域の学校を大切にする心を育てていく。